

# ありが隊新聞



前田  
美沙



篠田  
大樹



片山  
素晴

Vol. 95  
2021年3月25日  
編集者：篠田 大樹

## 素晴らしい暮らし



(記 片山 素晴)

新緑の季節にはまだ早いですが、草木が元気になつてきました。昨年は圃場管理や、景観の維持を目的とした草刈を行つていきましたが、今年は個々の草に关心を持ち、特性などを調べながら有効活用してみようと思います。

3月は4月からのスタートダッシュに重要な時期で、引越しと菌床シイタケの栽培環境の構築を完了させる計画ですが、不慣れなことばかりで、少し遅れが発生しています。3月の残り数日が充実した日々になりそうです。

そうした中で良い出会いもありました。『ヤーコン』です。ご存じの方も多いと思いますが、私は初めてその存在を知りました。見た目はお芋のようで、ほんのり甘みがある不思議な感じでした。種芋もいただきたので栽培してみます。皆さん楽しみましょう。



手拭い



ロゴ



オンライン  
ショッピング  
QRコード

二月から野菜の種まきが始まり、末からはお茶の肥料撒きも始まり、少しずつ春の訪れを感じるようになつてきました。三月になるとお茶畑横の梅の花も綺麗に咲き、お茶の作業でもいつも季節の移り変わりを感じられます。

二月には去年に続いて味噌作りに参加させてもらいましたが、来年度は大豆作りから挑戦したいと思います。

また、春に向けてお茶の関連商品も内容が確定しました。Tシャツと手拭いを作りますが、ロゴは湯気とお茶の葉っぱ、天竜川の流れと「TEA」の文字を掛けたものになっています。手拭いの模様には十二軒の茶紋をあしらっています。このTシャツと手拭いで茶摘みや、体验ツアーやイベントを盛り上げていきたいと思います。手拭いは三月二十七日に自慶院で行われるイベント・移住者交流会で販売開始しますので是非お買い求めください。また、オンラインショップでも両方ともお買い求めいただけます。

六月十二日（土）には紅茶用の茶摘みツアーを開催予定です。ツアーと並行して当日茶摘みをして頂ける方も募集しています。お礼には出来た紅茶を差し上げますので、紅茶好きの方はぜひご参加ください。

## 二月からの活動

（文・篠田 大樹）



皆さんこんにちは。

天龍村も日中は暖かい日がだんだん増えてきて、いよいよ春らしくなってまいりました。

さて、春と言えばいよいよ茶摘みが目前です。そして私は最近何をしているかというと、茶摘み前の畠の準備をいそいそと進めている最中で、今は標高の高い畠の春整枝をしています。

無心で整枝をしていると色々な事を考えたり、時には頭の中が空っぽになつたりして、なかなかスッキリします。振り返ると茶畠もきれいになつていて、大変ですがとても好きな作業です。

さて、ここからお茶のシーズンまで駆け抜けてゆきます。

## ■活動報告会の動画を公開しました

2月25日に地域おこし協力隊・集落支援員の活動報告の動画を撮影し、編集が終わりましたので報告会の動画を公開します。

動画配信サイト「ユーチューブ(YouTube)」の村地域振興課アカウントから再生いただけぬほか、スマートフォンでQRコードを読み取つていただくと、動画が再生されます。

【公開アドレス】

<https://youtu.be/UFIlynaDHbw>



## ■「え~♪」ま後援会の動画を公開しました

3月14日にズーム(Zoom)アプリを使用し、集落支援員が主催し、日本エコマ協会の服部先生による講演会を開催しました。動画の内容は配信の都合上、限定公開とさせていただいております。講演会の様子が知りたい方は動画のURLをお伝えしますので、お問い合わせください。

## ■協力隊・新隊員の受け入れについて

前号でお知らせしたとおり、4月より4名の隊員が天龍村で活動されます。うち3名は県外からの転入となります。コロナ禍における活動開始となりますので、村では左記の対応を取り、受け入れを行います。

・転入前に抗原検査を実施し、陰性が確認されたうえで来村いただきます。

・着任後速やかに、阿南病院にて医師監修のもとPCR検査を受検いただき、陰性が確認されたのちに、地域内での活動を行つていただきます。

・ほか、マスク着用等、コロナ感染対策を講じたうえで活動をはじめていますので、今後とも、地域の皆様方のご理解とご協力をお願ひいたします。(地域振興課 移住定住推進係)